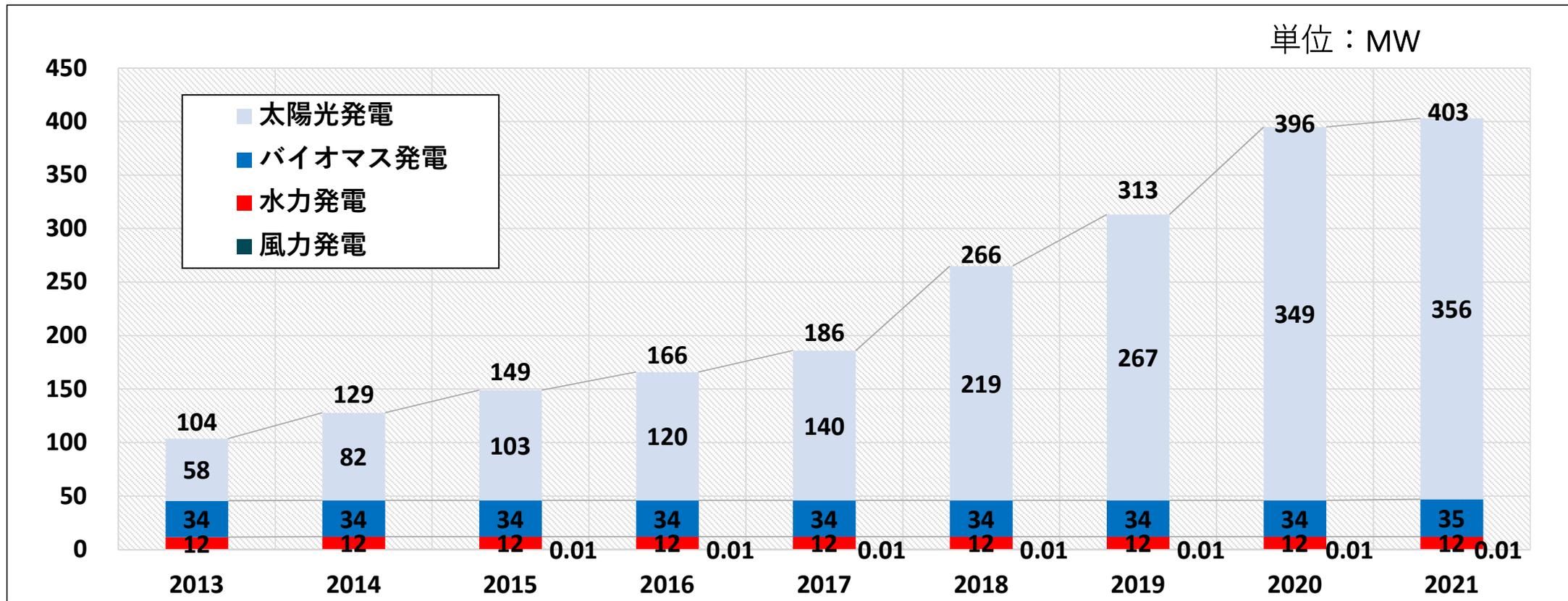


再エネの利用促進に係る実施目標（案）について

仙台市域における再生可能エネルギーの導入推移について



2012年に創設された固定価格買取制度（以下、FITという）等により、特に太陽光発電の導入が促進され、2013年度と2021年度までの導入実績を比較すると、全体で約4倍となっている

再生可能エネルギー種別の導入状況等について

(太陽光)

- ・ 事業用太陽光発電について、2017年のFIT制度変更により、2018年度以降導入が急速に進んだが、近年は、買取単価下落等により導入量が低下している。
- ・ 特に、森林の開発を伴う大規模事業においては、採算性を含む事業性や災害対策、地域の理解の確保が課題となっている。

(バイオマス)

- ・ 2013年度以前より、仙台市の清掃工場3施設（今泉工場、葛岡工場、松森工場）のほか、民間のバイオガス発電設備が稼働している。
- ・ 今後も、南蒲生浄化センターにおけるバイオガス発電設備や木質バイオマス発電設備の稼働予定がある。

- 太陽光については、住宅等建築物の屋根等を活用した太陽光発電の導入を進めていく
- バイオマスについては、今後導入が見込まれる案件があった場合、本市施策により導入を支援していく

再生可能エネルギー種別の導入状況等について

(水 力)

2013年度以前から、民間による水力発電施設が稼働しており、それ以降は、小水力発電施設が導入されている。水力発電のポテンシャルを有している地点は存在するが、規模が小さいうえに、その地点が山奥にあるなど、費用対効果が低いことから開発が進んでいない。

(風 力)

宮城県の風力発電の導入促進に向けた調査による「風力発電導入に係る県全域ゾーニングマップ」において、仙台市域には適地はほぼないとされている。

(地 熱)

現状、仙台市域に地熱発電施設の導入はない。また、国の調査において、仙台市域には有望な地熱資源地点は確認されていない。

➤ 水力、風力、地熱については、今後、大規模な導入を見込むことは難しい

再生可能エネルギー導入目標試算の考え方

エネルギー種別	試算の考え方	
太陽光発電	住宅用 (10kW未満) 1、2の合計	<ol style="list-style-type: none"> 2030年度において新築戸建住宅の6割※に設備が導入されることとして算入 ※国のエネルギー基本計画において想定されている導入割合 本市独自の住宅向け支援事業を拡充しつつ、既築住宅も含め、2030年度における導入量を見込み、算入
	事業用 (10kW以上) 1、2の合計	<ol style="list-style-type: none"> 今後のFIT認定量及びFIT認定を受けた未稼働分のうち、本市の実情等を踏まえた導入量を見込み、算入 本市独自の事業者向け支援事業を拡充しつつ、共同住宅や事業所等も含め、2030年度における導入量を見込み、算入
バイオマス発電	現に計画・公表されている発電所について稼働すると想定して算入	
水力発電	2013年度から2021年度までの導入量（伸び率）が維持・継続すると想定して算入	
風力・地熱発電	今後も導入の可能性は低く、見込まない	

再生可能エネルギー導入促進に係る本市独自施策（案）について

①【新規】再生可能エネルギー設備導入に関するマッチング支援

民間施設等の未利用地（屋根、駐車場等）を借りて発電事業を行う「発電事業者」と、未利用地の貸付を希望する「施設所有者」を市が募集し、マッチングを行う。

②【新規】パワーコンディショナ更新費用助成

太陽光パネルより想定使用年数が短い「パワーコンディショナ※」の更新にかかる費用の一部を補助する。

※住宅等で使用できるよう、太陽光パネルで発電された直流の電力を交流に変換する装置

③【拡充】太陽光パネル・蓄電池等の共同購入

広く市民から購入希望者を募り、共同購入によるスケールメリットを活かした価格低減を促すことで、市民が安心して、安価に太陽光発電設備を導入できる仕組み。

今後、事業用の共同購入についても検討を進める。

④【拡充】公共施設における再生可能エネルギー導入促進

太陽光発電設備未設置の公共施設において、太陽光発電設備の導入可能性調査を進めており、調査結果を踏まえ、更なる導入を促進する。

仙台市
住宅向け太陽光パネル・蓄電池等の共同購入事業
みんなのおうちに太陽光
電気代が上がっている今だからこそ太陽光を賢く使うチャンス！
28,700円
グループパワーで、かいてくちタイズ、未来へつなぐおうちセンター
太陽光パネル 蓄電池 みんなで購入しませんか？
購入プランは3パターン
1 太陽光パネル 削減した電気代の節約
2 太陽光パネル+蓄電池 削減した電気代を蓄電池に蓄えて取替時に使おう！
3 蓄電池 太陽光がなくても使おう！
仙台市民の皆様へ
仙台市は、「2050年達成努力目標（ネットゼロ）」を目指し、脱炭素都市の実現に向けた様々な取り組みを進めています。
本事業は、共同購入によるスケールメリットを活かし、市民の皆さまが太陽光パネルや蓄電池等を、安心してより安くご購入いただける仕組みです。
この機会に是非、ご検討いただければ幸いです。
無料の参加登録をすると、ご自宅に導入した場合のお見積もりが確認できます。
参加期間 2023年
4.7 ▶ 7.31
仙台市市民のみなさんへ
参加登録・詳しい情報は専用WEBサイトからご確認
<https://group-buy.jp/solar/miyagi/home>
※本事業は仙台市が主催するものであり、仙台市が保証するものではありません。

③共同購入チラシ



④避難所太陽光発電システム

再生可能エネルギー導入目標の試算結果

単位：MW

種別		2021年度 実績	2030年度 導入目標案
太陽光	住宅用(10kW未満)	89	202
	事業用(10kW以上)	267	366
	小計	356	569
	風力	0.01	0.01
	バイオマス	35	223
	水力	12	13
	地熱	0	0
	合計	403	805

(参考) 市域消費電力量に対する 再エネの相当量	10%	40%
国のエネルギー基本計画では、2030年度における、電源種別の発電電力量総量に占める再生可能エネルギーの割合は、 <u>36%~38%</u> とされている		